

東京都市大学  
都市生活学部都市生活学科

—せいらん舎 20 期卒業生 M・N による所属大学紹介—

# 目次

## 基本情報

- ▶ 世田谷キャンパス
- ▶ 横浜キャンパス

## 解説の前に…

## キャンパスライフ

- ▶ 通学
- ▶ 学食
- ▶ 施設
- ▶ サークル
- ▶ 周辺
- ▶ バイト

## 都市生活学部の解説

- ▶ 受験方法
- ▶ 教育方針

## 建築について

- ▶ 制作紹介

## せいらん舎で学んでいる皆さんへ

- ▶ 今しかできないこと
- ▶ 自分で切り拓く

# 基本情報

## 〈世田谷キャンパス〉

東京都世田谷区玉堤 1 丁目 28-1

理工学部・建築都市デザイン学部・

情報工学部・人間科学部・都市生活学部



私が所属する学部

## 〈横浜キャンパス〉

神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3 - 3 - 1

環境学部・メディア情報学部

私立大学／創立 93 年

武蔵工業大学と東横学園女子短期大学が統合し、都市生活学部、人間科学部が開設され、今の東京都市大学の形になっています。

……東京都立大学とは別物ですよ...?

友達や知り合いのご両親などによく間違えられて覚えられています (笑)。

## 解説の前に…都市大の略語

- ▶東京都市大学⇒**都市大**
- ▶都市生活学部⇒**都市生活**
- ▶都市生活学部生⇒**都市生**

そのほかにも、授業ごとにいろいろな略し方があります。

## キャンパスライフ

### 〈通学〉

最寄り駅は東急大井町線の『尾山台駅』。

埼玉県民、特に久喜市民は通学に2時間ほどかかります。

尾山台駅から世田谷キャンパスまでの道のりは、

坂が多く歩いて20分弱かかります。

都市大生のほとんどがこの通学路を利用しているので、

朝は特に混雑しています。

## 〈学食〉



食事ができる場所はキャンパス内に4つ。

1つは都市生が主に使っている校舎にあるためとても便利。

一番大きな食堂はとても広く、メニューも種類が豊富です。

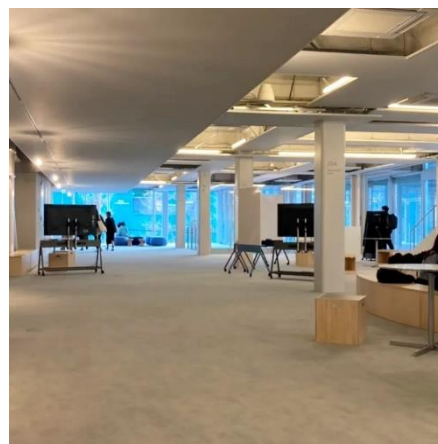
## 〈施設〉

私たち都市生活学部が主に使うのは7号館で、

去年建てられた新しいキャンパス。

自由に座ることのできる椅子やソファ、ベンチなどが多く、

充実した空きコマを過ごせます。



なんと、壁面は全面ガラス張りとても素晴らしい景観です！



## 〈サークル〉

都市大には様々な活動があり、本気のスポーツをやるのは部活、  
楽しく活動したければサークルという形となっています。  
スポーツから音楽、ゲームや勉強系まで様々なサークルがあるので  
かなり選択肢は多いと思います。  
しかし、サークルに入っている学生はそこまで多くなく、  
全体の加入率は65%ほどです。

## 〈周辺〉

学校の周りは基本的に住宅地で、コンビニが3つ、4つあるので、  
すぐ買い出しに行くことができます。  
駅前には尾山台商店街があり、多くの学生が学校帰りに立ち寄って  
ご飯を食べています。あとは自由が丘が近いので、  
サークルで集まる時によく行きます。

※自由が丘…おしゃれな街並み。住みたい町の上位にランクイン。

私は定期券内に池袋や渋谷、新宿など主要な駅があるので、  
定期を存分に使って出かけています（笑）。

※池袋…飲食店も多く、都内でも有数の繁華街。人が多い。

※渋谷…流行ファッションはここから拡散。多くの若者が訪れる。

※新宿…世界一の利用者を誇る巨大ターミナル。人の波に溺れる！

## 〈バイト〉

私や私の友達の話から推察すると、  
約7割の学生は何かしらのバイトをしています。

私は通学に2時間もかけていますので、  
平日に働くのは厳しく、休日にバイトに行きます。

また、東京都市大学はクォーター制で  
一か月半ごとに時間割が変わってしまうので、  
シフト（曜日・時間）固定のバイトは厳しいと思います。

バイトを探す経験も大切ですね。

# 都市生活学部の解説

## 〈受験方法〉

- ・ 一般入試

一般選抜／共通テスト利用入試

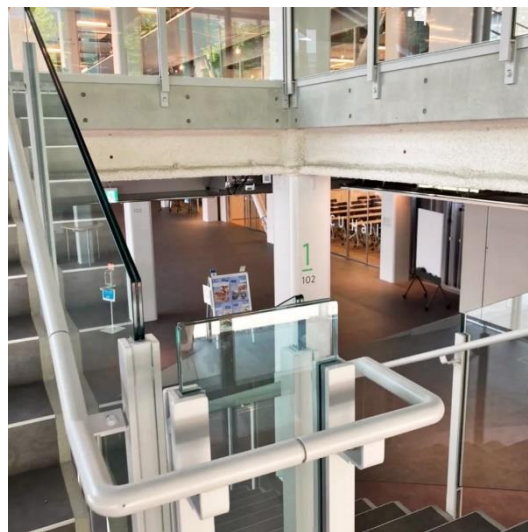
- ・ 推薦入試

総合型選抜／学校推薦型選抜 など…

都市生には推薦入試で入った人も多くいます。

詳しくは東京都市大学ホームページをご覧ください。

[東京都市大学 | 入学案内 | 2023 年度入試概要 \(tcu.ac.jp\)](https://tcu.ac.jp)





## 〈教育方針〉

私たちは人口の大部分が住んでいる都市部で生活しているので、都市という分野について深く考えたことはないかもしれません。

(ちなみに栗橋もきちんと都市部ですよ！)

都市生活学部では学ぶ分野を大きく4つに分けていて、

「都市のライフスタイル」「都市のマネジメント」

「都市のデザイン」「都市の仕組み」を学んでいます。

この4つの分野を詳しく説明すると、

### 「都市のライフスタイル」

社会学や広告、マーケティング、集客学

### 「都市のマネジメント」

都市政策、不動産、都市開発、不動産ビジネス

### 「都市のデザイン」

建築、都市デザイン、インテリアデザイン

### 「都市のしくみ」

都市の環境、ユニバーサルデザイン、都市交通、都市経営、福祉

このように、大きく「都市を学ぶ」といっても、

文系理系どちらの分野もあります。

お気づきでしょうか？都市生活学部は文理融合の学部なのです。

同じ授業を取っている人と友達になりやすいからなのか、

私の周りでは3分の2くらいが理系の友達です。

そして、形としては文系の学部ですが、

**建築士免許を取得できるカリキュラム**があるのです。

私はずっと建築を学びたかったので、

高校時代も理系で学んでいましたが、文系の授業も受けており、

得意だったので都市大の入試方式にぴったりでした。

1年次は基本的に必修科目が多いので、

全員同じような授業を取ります。

そして、学年が上がるにつれ、上記に載せた4つの分野の授業うち

自分が興味のある単位を取ります。

私は**建築士免許受験資格**が取得できる条件を満たすように

履修の単位を選んでいきます。

限度ギリギリまで単位を取らなければ

免許取得にたどり着かない私のような人もいれば、

そこまで単位を取らなくても卒業でき、

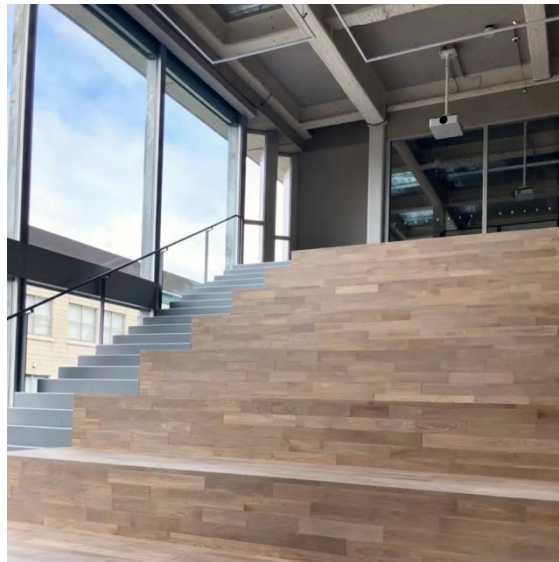
余裕がある人もいます。

単位や課題など、基本は一人でもできますが、

友達と助け合い、協力し合いながら授業を受けていくことで  
良い成績を取れたりすることも大いにあります。

さらに、都市大には [TAP](#) という[留学プログラム](#)があり、  
オーストラリアに3か月ほどの留学に行くことができます。  
近年はコロナウイルスの影響で予定通りではありませんが、  
私たちの学年からは行くことができそうです。

留学に興味がある人も都市大に入ると良いと思います。



## 建築について

建築と聞くと気難しい印象を持っている人もいますが、

建築というのはとても身近な分野です。

私が建築に興味を持ったのは、

「家はどうやって建てられるのだろう」という疑問からでした。

皆さんが住んでいる家や通っている学校、遊びに行く商業施設も、

それを設計した設計者と、全体を管理している建築士がいます。

建築とは、使う人の生活をつくることでもあります。

したがって、建物を建てる技術を会得するためには

理系の勉強をしなければなりません、

住む人たちの暮らしを作るためには

ただ計算ができればよいわけではありません。

世の中の流れを読む力、人の気持ちが分かる力、

美しいものに気づく力など、勉強だけでは養えない力が必要です。

これも建築分野を学ぶ面白さの一つであります。

建築を学ぶためには大学や専門学校、高等専門学校など

様々な手段がありますが、基本的にほかの学部比べて、

文系の学部はもちろん、理系の学部の中でも、

とても忙しい学生生活になることでしょう。

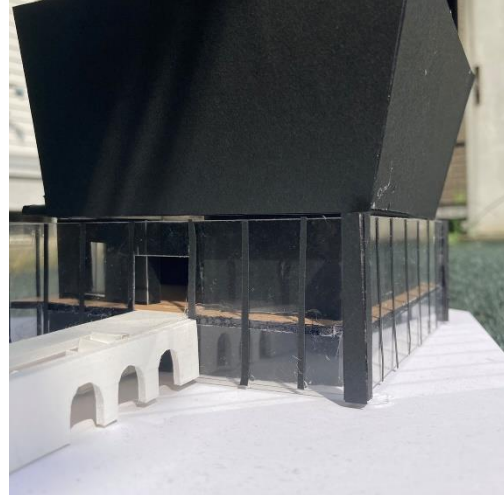
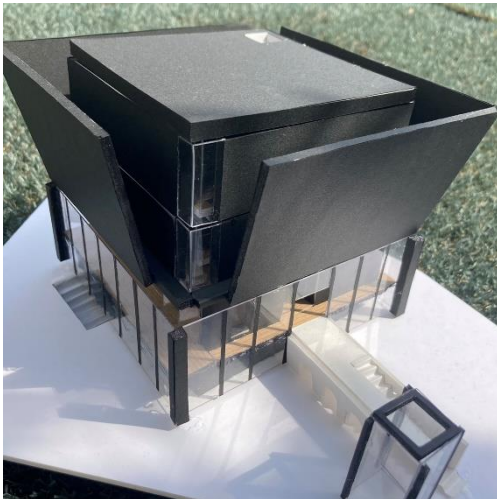
学生時代が終わっても、建築の世界にいる限り、  
日々新しい情報や作品などを吸収していく必要があります。

建築の世界は毎日が学びなのです。

ここで、1年半都市大で学んできた中で制作した作品や課題などを  
少しばかり紹介したいと思います。

### 〈制作紹介〉

#### —美術館—



こちらは空間デザイン演習という、設計・デザインの授業で、  
実際の敷地を指定され、その美術館に実在するアーティストを  
選んでその作品を展示するという設定の課題で作ったものです。

この作品はわたしが2つ目に作ったものなので、

外構まであまり手が回っていませんでしたが、

面白いデザインにできたのではないかと

我ながら思っています。

建築の面白いところのひとつでもあります、  
課題として提出し終わっても、まだまだ手直しができるし、  
学生時代の作品をプロになってから再設計して  
実現させることもできます。

### —集合住宅—



こちらと同じ授業で美術館の次に出た課題で、  
集合住宅を制作しました。

この時は敷地だけ与えられ集合住宅を建てるという指定だけで、  
テーマは自分で好きなように決めることができたので、  
さらに良い作品を作ることが出来ました。



大変だった点は、設計するときは、アイデアとデザインというふたつを一心同体として考えなければならないところです。

この作品も制作に多くの時間をかけて、  
遅くまで起きるのが苦手な私でも、  
提出前夜は3時まで起きて制作していました。

### —商業施設—

こちらと同じ授業ですが、段々と課題が難しくなっていくため、  
取っている人はほぼいませんでした。

この授業ではディベロッパー（土地や街を開発することを生業としている不動産会社）が主催している学生コンペ（競技会）のテーマを利用してCGで商業施設を製作するという授業でした。

私は模型を作るほうが好きなので、  
商業施設の運営のための仕組みを考える必要があることで  
悩んだり苦戦したりしました。

授業は終わりましたが、実際にそのコンペに提出するために  
細かいところを修正しているところです。

コンペに提出しているので画像はお見せできませんが、  
参考になれば幸いです。

## せいらん舎で学んでいる皆さんへ

せっかく時間を割いて私の大学について読んでくれた  
せいらん舎の塾生の皆さんにお伝えしたいことがあります。

### 〈今しかできないこと〉

まずは小学生・中学生・高校生のそれぞれの時代で、  
その歳でないとできないことを沢山してほしいということを  
皆さんに伝えたいと思います。

勉強だけを頑張ることもいいですが、興味があるならば  
いろいろなことにも挑戦すべきです。

私は両親に『将来後悔しないように勉強しておきなさい』と  
よく言われていたことや負けず嫌いでもあったので、  
勉強が中心の生活で過ごしてきました。

しかしながら、勉強もそれなりに頑張ったうえで、  
できるならば、遊びも部活もその他のことも  
是非一生懸命にやってみてください。

そこから将来したいことも見つかるかもしれません。

## 〈自分で切り拓く〉

次に私がお伝えしたいのは、  
真剣に取り組むことの重要性についてです。

皆さんがせいらん舎に入塾して学んでいるのは  
なにかきっかけがあるはずです。

テストの点数を上げたくて自ら入塾した人、  
高校受験に不安を感じて入塾した人、  
親に言われてしぶしぶ入塾した人、  
いろんなきっかけがあると思います。

私の場合、はじめは親に言われて入塾しましたが、  
勉強は嫌いではなく、負けず嫌いであったので、  
いつも真剣に学んでいました。

まじめに勉強しろと押し付けているわけではなくて、  
真剣に勉強できる環境があるならば利用すべきということです。

なぜ真剣に取り組めと勧めるのかお分かりでしょうか。  
偏差値の高い学校に入り、年収の良い企業に就職できるから…。

それも間違いではありません。

ところが、偏差値の高い有名大学を卒業しさえすれば、

稼ぎやすい、充実した人生を送ることができるか…といえば、

私はそうは思いません。

もうそのような時代ではないのではと感じています。

(必要十分条件のようですね)

面白い人生になるか、つまらない人生になるかは、

いわゆる有名大学を出たかどうかという経歴による結果ではなく、

その人自身によると思うのです。

将来就きたい職業や、やりたいことなど、

夢・目標がまだ見つけられていないのなら、

ぼんやりでよいのでできるだけ見つけていくべきです。

人生100年時代ですから、

40代になってからやりたいことができるかもしれません。

それでも10代後半、20代前半のこの時期に学ぶということは

とても重要なことだと思います。

実際、勉強ができる、優秀な人でも、

高校3年生になっても将来したいことが分からない

そんな人もたくさんいます。

そうなると進学して学んでいても目標が定まらず、

なぜ勉強しているのか分からなくなります。

もちろん途中で進行方向を変えてもいいし、

脱線して一休みしてもよいでしょう。

しかしながら、そのような時もすべて自分で決め、

切り拓いていかなければなりません。

真剣に取り組む癖がついていれば、

人生のどんなフェーズになっても、

自分のやりたいこと、好きなこと、守るべきこと、

それらをすべて大切にでき、自分の人生を作り出す力になります。

こう言っている私もまだまだ未熟な部分だらけですが、

それを分かった上で成長していくことが大切だと思っています。

ぜひ今の歳から真剣に取り組むことを経験してってください。

その真剣に取り組む練習ができるのがせいらん舎です。

その経験を自分の人生を切り拓くために使ってください。

ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

皆さんにプラスになれば幸いです。

せいらん舎 20期生 M.N

画像出典：[https://www.excite.co.jp/news/article/Dprp\\_55918/](https://www.excite.co.jp/news/article/Dprp_55918/)